

アイビス SD

<AI注目馬>

<評価 A>

5, 7

<評価 B>

なし

<評価 C>

2, 4, 11, 16

<最終見解>

父も母父も非サンデー系。外枠。テンのタイム。
シンプルにこの3点を重視すればよさそうな馬場。

本命はファイアダンサー。
父も母父も非サンデー系。母エンジェヌーと同じ青鹿毛。
その影響もあってか母父コマンズの影響が強い馬。
コマンズは当レースにも強いダンチヒ系でオーストラリアの名種牡馬。

対抗はヴァガボンド。
父も母父非サンデー系。外枠。芝スタートのテン1ハロンは速い馬。

クイーン S

< 亀AI注目馬 >

< 評価 A >

なし

< 評価 B >

9

< 評価 C >

2, 3, 13

< 最終見解 >

クイーン S は戦歴、血統ともにスプリント指向のレース。
洋芝で小回りの流れに乗り、直線の伸びも必要なレースのため、
欧州のスプリント戦のような適性も問われるため。

特筆すべきはスプリント血統が走りやすいこと。
2020 年 11 番人気 1 着のレッドアネモスは母父がサクラバクシンオー。
2 着ビーチサンバは父がクロフネ。

サクラバクシンオー、クロフネともに
芝 1200m の G1 勝ち馬を複数出した種牡馬。

クロフネ産駒は 2017 年にもアエロリットが 1 着。
2016 年に 11 番人気 3 着のダンツキャンサーも母父がサクラバクシンオー。

前走では短い距離を使っていた馬も有利。
3 番人気以内の馬に限っても前走 1600m 以下は
過去 10 年(札幌開催)で複勝率が 67% に対し、
前走 1700m 以上を使っていた 3 番人気以内で
馬券になったのは 2013 年以降では 2018 年 1 着のディアドラだけ。

2000m 以上の重賞実績が評価されて
人気になっているタイプはさらに信用できません。

本命はジネストラ。

父がロードカナロア。スプリント戦の名馬。
芝 1200m の種牡馬ランキングも首位。
近親にシンコウラブリー。

過去 4 勝はすべて芝 1600m 以下。
うち 3 勝は芝 1500m 以下。短距離指向の血統、戦歴の馬。

対抗はイズジョーノキセキ。
5 勝はすべて芝 1800m 以下。うち 4 勝は 1800m。
近 2 走は 1600m が合わずも、1600m 経験自体は
当レースへ向けてはいい経験。

主流血統の差しが決まりやすい今の馬場傾向も向きます。